

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040060

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：320千円 計画内容：街灯補助
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	B	
単位施策	3 町民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	大通り商店街協同組合街灯費補助事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	組合の安定運営		#N/A	
事業目標	1組合	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助
	事業費(千円)	1,600	320	320	320	320
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,600	320	320	320	320	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	640	320	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	640	320	320			
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 1組合	100%	100%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 20%	40%	40%	40%	40%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	大通り商店街協同組合街灯費補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町大通り商店街協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	組合数
【抱える課題やニーズは】	組合員の減少(廃業等)、組織体制の強化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	空き店舗の活用等により、商店街の活性化を図る。	① 補助団体数	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	商店街活性化による組合員数増(組織強化)		目標値 1 団体
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	街灯電気料金の補助	大通り商店街協同組合に対する街灯電気料金の補助	実績値 1 団体
			達成度 100.0 %
			②
			目標年度 平成26年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本来は自助努力により街灯費の負担を行うべきであるが、組合維持運営に係る経費増から困難であり、夜間の防犯上、商店街の集客上、公共性の高いものと判断されることから、町による補助が必要である。さらに、自治会への街灯費補助との関連も視野に入れ、必要と判断される。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	これまでに商店街での犯罪が少ないこと、限られた予算においてサンバロッドまつりの開催や冬期イルミネーションの設置による街並み装飾・植栽等の活動を行っていることを鑑み、有効と判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	街灯料金に対する補助であることから、過剰なコストが発生する余地は無いが、昨今の電気料金値上げも踏まえ、将来的には省エネ街灯(LED)導入によるランニングコスト抑制について検討を要する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各自治会への街灯電気代補助に準じたものであり、公共性の高い場所であることから、公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	A	
	公共性の高い場所にある街灯の料金補助であることから、現行の措置を継続する必要がある。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/拡充	
	対象が公共性の高い場所であることから、現行の措置を継続する必要があるが、電気料金の値上げ及び当該組合からの要請もあることから、LED街灯への転換等による節電対策に向けた助成についても検討する。	

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止